

**平成 25 年度
(平成 24 年度対象)**

**教育委員会の
点検・評価**

壬生町教育委員会

目 次

I 教育委員会評価の概要	P 1
II 教育委員会の活動	P 3
III 主な施策ごとの事業概要、評価、方向性	P 4
1. 潤いに満ちた生涯学習を振興する	
(1) 多様な学習活動の支援	
① 学習内容の充実（生涯学習課）	P 4
② 施設の整備・充実（生涯学習課）	P 5
③ 図書館サービスの充実（生涯学習課）	P 8
(2) 学習成果の地域社会への活用	
① 成果活用機会の充実（生涯学習課）	P 9
2. 歴史・伝統を学び、新たな文化を創造する	
(1) 文化遺産の保護・活用	
① 文化財の保護（生涯学習課）	P 10
(2) 地域伝統・歴史の再興・継承	
① 地域文化の継承（生涯学習課）	P 12
(3) 地域の歴史の再発見・発信	
① 地域歴史・文化の調査研究（生涯学習課）	P 12
3. 自ら学びたくましく生きる力を育む学校教育を推進する	
(1) 小・中学校教育の充実	
① 教育内容の充実（学校教育課）	P 13
② 特別支援教育の充実（学校教育課）	P 15
③ 教育環境の整備・充実（学校教育課）	P 15
④ 相談体制の充実（学校教育課）	P 17
⑤ 幅広い学びの充実（学校教育課）	P 17
(2) すべての住民が競い、触れあい、スポーツを楽しむ環境を創る	
(1) 生涯スポーツの普及促進	
① 人材・団体の育成（スポーツ振興課）	P 18
② 地域型スポーツの推進（スポーツ振興課）	P 20
③ スポーツ施設の充実（スポーツ振興課）	P 20
(2) 幅広い町民スポーツの振興	
① スポーツ参加機会の拡大（スポーツ振興課）	P 21
4. 青少年が健やかに育つ社会を実現する	
(1) 家庭教育の充実	
① 家庭教育の充実（生涯学習課）	P 22
(2) 青少年活動の推進	
① 青少年活動の充実（生涯学習課）	P 23
6. 共同参画社会の確立を目指し、個人・個性を尊重する	
(1) 男女共同参画の推進	
① 推進体制の整備（生涯学習課）	P 24
7. 国際理解を促進し、交流活動を推進する	
(1) 国際理解の促進	
① 外国文化への理解の促進（学校教育課）	P 25
(2) 国際交流活動の推進	
① 交流活動の支援（学校教育課）	P 26

I 教育委員会評価の概要

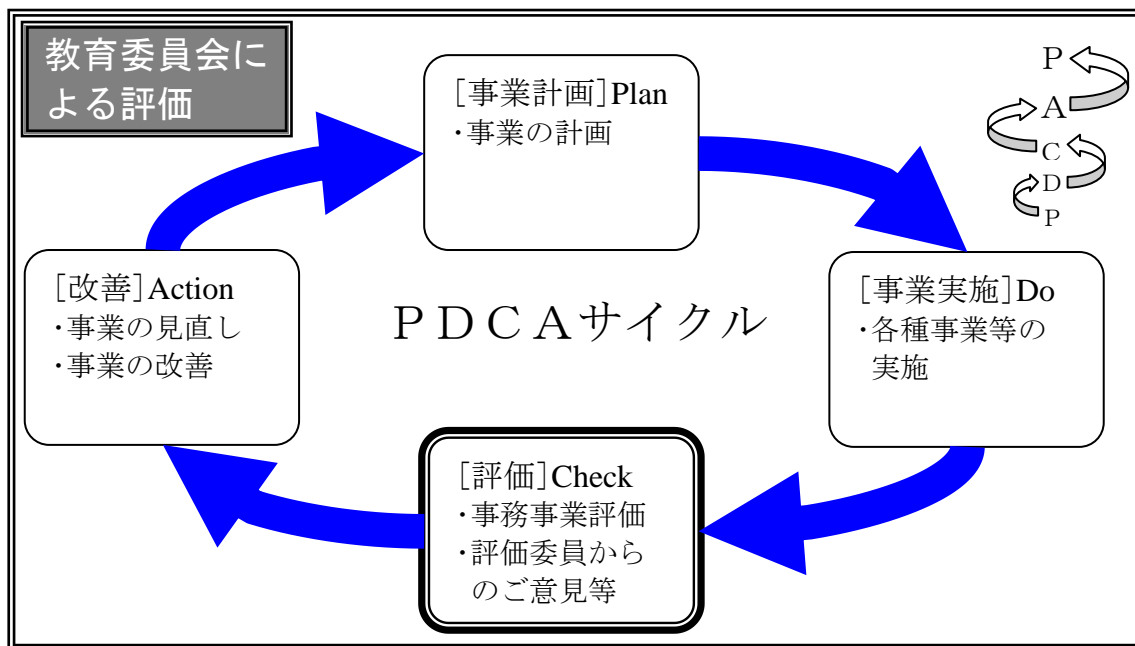
1 評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民へ公表するため、壬生町教育委員会が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を実施します。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋
(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)
第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務(同上第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○評価のしくみ

教育委員会で行った自己評価と今後の対応方向を明示して、外部の方のご意見をいただきます。



2 評価の対象

平成18年度から27年度の町政運営の基本的方向を示した壬生町第5次総合振興計画～活力と創意が生きる希望に満ちたまち・みぶ～に基づき7基本方針、13基本計画に分け、必要性・妥当性・効率性・有効性等の観点から主な施策の主要事業について、平成24年度の事業を点検し、評価を行いました。施策名称等は、次のとおりです。

3 施策の名称等

基本姿勢

個性が輝き文化が薫る、学びの社会を実現する

基本方針	基本計画	主な施策
1. 潤いに満ちた生涯学習を振興する	(1)多様な学習活動の支援	①学習内容の充実 ②施設の整備・充実 ③図書館サービスの充実
	(2)学習成果の地域社会への活用	①成果活用機会の充実
2. 歴史・伝統を学び、新たな文化を創造する	(1)文化遺産の保護・活用	①文化財の保護
	(2)地域伝統・歴史の再興・継承	①地域文化の継承
	(3)地域の歴史の再発見・発信	①地域歴史・文化の調査研究
3. 自ら学びたくましく生きる力を育む学校教育を推進する	(1)小・中学校教育の充実	①教育内容の充実
		②特別支援教育の充実
		③教育環境の整備・充実
		④相談体制の充実
		⑤幅広い学びの充実
4. すべての住民が競い、触れあい、スポーツを楽しむ環境を創る	(1)生涯スポーツの普及促進	①人材・団体の育成
		②地域型スポーツの推進
		③スポーツ施設の充実
(2)幅広い町民スポーツの振興	①スポーツ参加機会の拡大	
5. 青少年が健やかに育つ社会を実現する	(1)家庭教育の充実	①家庭教育の充実
	(2)青少年活動の推進	①青少年活動の充実
6. 共同参画社会の確立を目指し、個人・個性を尊重する	(1)男女共同参画の推進	①推進体制の整備
7. 国際理解を促進し、交流活動を推進する	(1)国際理解の促進	①外国文化への理解の促進
	(2)国際交流活動の推進	①交流活動の支援

Ⅱ 教育委員会の活動

壬生町教育委員

職 名	氏 名	任 期
委員長	池 節 子	H22. 10. 1～H26. 9. 30
委員長職務代理者	藍 田 収	H23. 10. 1～H25. 12. 22
委 員	大久保 信 男	H24. 1. 22～H28. 1. 21
委 員	本 島 博 久	H24. 11. 1～H28. 10. 31
教育長	落 合 範 子	H25. 4. 2～H29. 4. 1

1. 教育委員会の活動

(1) 教育委員会会議の開催状況

		平成23年度	平成24年度
開催回数	定例会	12	12
	臨時会	3	1
計		15	13
付議案件数	審議	36	22
	報告	17	14
計		53	36

(2) 平成24年度教育委員会会議の審議件数一覧

事 項	件 数
教育に関する一般方針について	3
教育財産の取得について	1
人事案件について	9
規則等の制定・改廃について	3
教育委員会の点検・評価について	1
その他	5
合 計	22

2. 教育委員会会議以外の活動状況

(1) 学校その他の教育施設等の視察

実 施 日	視察先
平成24年 7月 9日	壬生中学校、羽生田・藤井・壬生・稲葉小学校、適応指導教室「ひばり」

(2) 教育委員の総会・研修会など

平成24年 5月18日 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会

平成24年 7月 5日～6日

下都賀地区市町教育委員会連合会学事視察

平成24年 7月27日 下都賀地区市町教育委員会連合会教育委員全体研修会

平成24年11月 7日 栃木県市町村教育委員会委員研修会

(3) 教育懇談会

平成24年11月 2日 小中学校長との懇談会

平成24年11月 8日 町PTA会長との懇談会

Ⅲ 主な施策ごとの事業概要、評価、方向性

1. 潤いにみちた生涯学習を振興する

(1)多様な学習活動の支援

各社会教育施設の適切な維持管理及び運営に努めるとともに、魅力ある学習事業の企画やイベント・鑑賞会などの開催、後援及び自主学習団体などの活動促進を図ります。

また、図書資料の充実とともに、町内の教育機関及び他市町施設との連携強化、インターネットの効果的な活用など、利用環境の整備を促進します。

①学習内容の充実

●主要事業

◇各種講座等開催事業（壬生中央公民館・稲葉地区公民館・南犬飼地区公民館）

<事業概要及び実施状況>

壬生中央公民館では、「エコクラフト教室」「源氏物語を読む」「トールペイント基礎レッスン」「茶道教室」等11講座、また、子ども向け講座として「子供のためのバレエレッスン」「夏休み子ども合唱講座」の2講座、並びに、「昆虫展」「みぶ文化教室」を開催いたしました。

稲葉地区公民館では、「プリザーブドフラワー」「高齢者学級 さくら学級」「気軽にフィットネス」等8講座を実施いたしました。

南犬飼地区公民館では、「初めてのフラダンス」「栃木の民俗文化」「開花学級 初めての俳句」等9講座を実施いたしました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
講座数	教室、講座数	講座	36	32
講座受講者数	参加延べ人数	人	5,513	5,629

<評価及び今後の方向性>

各公民館は、学習機会(生涯学習)の場として、町民や社会が求める講座等を開催し、地域のコミュニケーションづくりのうえで大きな役割を果たしています。

また、日頃の成果を発表する公民館まつりでは、ステージ部門26団体、展示部門27団体、その他5団体が参加・出演し、多くの町民が参加しました。

今後につきましては、互いに町民が学びあい地域で子どもを育む環境づくりを行うとともに、高齢者を含む幅広い世代の地域住民のニーズに合った講座企画を行い、継続的な学習を支援していきます。

◇各種講座等開催事業(北公民館)

<事業概要及び実施状況>

集会所事業として住民の教養の向上、住民同士の交流を図るため、小学生を対象に珠算教室と習字教室を開催しました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成 23 年度	平成 24 年度
珠算・習字教室開催数	延べ回数	回	64	47
珠算・習字教室参加者数	延べ人数	人	1,305	1,000

<評価及び今後の方向性>

北公民館の各種講座等開催事業は小学生を対象に各地区から集まる小学生の交流の場として大きな役割を果たしています。

今後も継続的に珠算・習字教室を開催していきます。

◇各種講座等開催事業(生涯学習館)

<事業概要及び実施状況>

生涯学習館主催講座では、「たのしく学べるハーモニカ教室」、「癒しのアロマセラピー」、「ハーブと園芸」、「リトミック」他計 11 講座とパソコン講座である「はじめてのパソコンからインターネットまで」、「はじめての簡単エクセル表作り入門」、「はじめてのワード文書作成」、「デジタル写真自由自在」他計 11 講座を実施しました。

また、外部団体に委託のうえ実施している「子育て支援事業」は延べ 528 人、「生涯学習セミナー企画事業」には延べ 245 人が参加しました。

3 月には、生涯学習館を中心に活動している自主団体の成果発表の場である「生涯学習館フェスティバル」を開催しました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成 23 年度	平成 24 年度
講座開催回数	講座延べ開催回数	回	191	182
講座受講者数	参加延べ人数	人	1,874	1,728

<評価及び今後の方向性>

生涯学習の機会を提供する場として、幼児から高齢者まで多岐にわたる年齢を対象にした幅広い講座等を実施することができました。

今後も、町民のニーズを把握することに努め、より魅力的な学びの場を提供することにより、生涯学習の推進を図って参ります。

<評価委員の意見>

- 事業実績の表示を統一してください。
- 具体的な内容で表現してください。
- 利用者の多くが 60 代以上となると元気な高齢者は次の見守り対象となります福祉部局との連携も検討してください。
- 論語はすばらしい教育効果が出ると思います。壬生の教育施策の一つに挙げられるものですので、今後も続けてください。
- 高齢者と子どもの間にいる青年層を集めた事業を検討してください。

②施設の整備・充実

●主要事業

◇中央公民館改修等工事

＜事業概要及び実施状況＞

大・中ホールの照明・舞台機構等の設備は、経年劣化による不具合等が発生しています。そのため平成24年度において、舞台設備改修工事大ホール改修設計業務委託を実施し大ホール等の改修計画を作成いたしました。

保守点検等で指摘された故障箇所等は随時対応しており、高圧遮断器交換工事、電話設備改修工事を実施いたしました。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
利用者数	中央公民館延べ利用者数	人	69,394	85,946

＜評価及び今後の方向性＞

大・中ホールの舞台照明・機構等の利用環境の向上を目指して、計画的な改修並びに更新を行い、町民等が安全で快適に利用できるような利便性の向上を目指します。

◇稲葉地区公民館改修等工事

＜事業概要及び実施状況＞

昭和62年3月に建築以来26年が経過し、老朽化により不具合等が発生していたため、講堂空調機改修工事を実施し、利用者が快適に利用できるようになりました。

また、平成25年度、館外に自動販売機を設置するため、自動販売機コンセント配線工事を実施しました。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
利用者数	稲葉地区公民館延べ利用者数	人	4,048	5,279

＜評価及び今後の方向性＞

稲葉地区公民館の利用環境の向上を目指して、計画的な改修等を行い、町民が安全で快適に利用できるような利便性の向上を目指します。

◇図書館改修等工事

＜事業概要及び実施状況＞

女子トイレ便器の洋式化を実施しました。これまで洋式便器は、身障者用トイレに設置している1基のみでしたので、使用頻度の大きい女子トイレへ設置しました。(各階和式1、洋式1)

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
女子トイレ洋式化率	洋式便器の割合	%	0	50

＜評価及び今後の方向性＞

女子トイレの半数を洋式化したことで、施設の利用環境向上に一定の成果は

得られたと考えます。男子トイレについても利用の状況を見ながら洋式化を検討して参ります。

◇ふれあい広場改修等工事

＜事業概要及び実施状況＞

嘉陽が丘ふれあい広場が避難所指定を受けましたが、多くの避難者収容が期待できる体育館(屋内運動場)は昭和46年竣工のため新耐震基準に適応した構造になっていませんでした。そこで平成24年度に耐震性能を向上させる工事と併せて老朽化した屋根、外壁を改修し建物の長寿命化を図りました。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値			
			平成23年度		平成24年度	
利用者数	ふれあい広場の延べ利用者数	人	町内	町外	町内	町外
			4,458	1,279	4,854	1,524
			計	5,737	計	6,378
耐震性能	Is 値		改修前		改修後	
			0.41		0.94	

※Is 値とは、耐震指標で耐震性能を表す数値。今までの地震被害の研究から Is 値 0.6 以上の建物は安全とされており、文教施設の耐震基準 Is 値は 0.7 を採用している。

＜評価及び今後の方向性＞

嘉陽が丘ふれあい広場体育館(屋内運動場)の耐震補強工事により耐震性能が向上し、併せて実施した改修工事で照明器具を交換し利便性が向上しました。今後は施設の利便性の向上に向け、宿泊研修施設の改修を計画的に進めて参ります。

◇生涯学習館改修等工事

＜事業概要及び実施状況＞

施設利用者の利便性を考慮し、1階女子トイレ(和式)を洋式へ、2階女子トイレ(和式)及び男子トイレ(和式)を洋式へと改修しました。(計4か所)また、1階講堂及び児童室の雨漏り箇所を修繕いたしました。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
利用者数	延べ利用者数	人	9,193	9,875
トイレ洋式化率	洋式便器数/便器総数	%	33.3	77.8

＜評価及び今後の方向性＞

施設の経年劣化により様々な不具合が発生しておりますが、利用者により快適に利用していただけるよう、改修工事を実施いたしました。今後は、より利用しやすい施設とするため計画的な改修を実施して参ります。

◇自治公民館建設事業

＜事業概要及び実施状況＞

自治会公民館は、自治会活動及び円滑な地域交流の拠点として重要なものです。地域の方々が主体的に活動する自治会公民館の利便性を図るため、新築、

増改築及び修繕等を行う場合の費用の一部を補助しています。本制度は平成23年度より補助金額の拡充を図り、平成24年度は今井自治会、上田自治会、旭町自治会、原坪自治会の公民館改修に補助しました。

補助率、補助金額等は以下のとおりです。

- ①新築の場合 補助率 30% 上限 300 万円
- ②増改築の場合 補助率 30% 上限 200 万円
- ③修繕(設備整備を含む) 補助率 50% 上限 200 万円、ただし 20 万円以上の事業費が対象

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成 23 年度	平成 24 年度
自治会公民館建設数	新築補助件数	件	0	0
自治会公民館改修数	改修等補助件数	件	7	4

<評価及び今後の方向性>

自治会公民館の建設、改修等の補助金は年度当初に行政協力員(自治会長)の会議で毎年周知しています。そのためほとんどの自治会長が本制度を理解しており、自治会公民館の改修が促進されました。今後もこの補助金の周知に努め、自治会活動及び円滑な地域交流の拠点整備を支援して参ります。

<評価委員の意見>

- 耐震化未施行の建物は今後の方向性に掲載すべき内容ではないでしょうか。
 - 自治会公民館建設が教育委員会の事業であることに違和感があります。
- 町のどこかの部署で取り扱うものと思いますが、この部署ではないように感じました。

③図書館サービスの充実

●主要事業

◇図書等購入事業

<事業概要及び実施状況>

図書資料の収集、整理、保存などは図書館事業の根幹となるものです。図書、新聞雑誌などの活字資料、DVDやCDなど映像・音楽資料を利用者の動向を踏まえ計画的に購入しています。昨年度の購入資料点数は4,580点でした。

[貸出件数]

	一般書	児童書	郷土資料	参考資料	城	漫画	雑誌	CD	DVD	ビデオ	その他
H23	67,769	85,565	72	53	174	8,838	6,872	8,616	4,113	3,342	0
H24	62,256	80,922	70	67	146	8,598	6,042	7,379	6,655	1,539	0

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成 23 年度	平成 24 年度
年間購入資料点数	1 年間の購入資料の点数	点	3,369	4,580
年間館外貸出点数	1 年間の貸出の点数	点	185,414	173,674
Webからの予約件数	インターネットからの予約件数	件	1,384	1,767

＜評価及び今後の方向性＞

昨年度は中高年に人気の高い「時代・歴史小説」の充実を図りました。特に文庫本による書き下ろしのシリーズを100冊余購入しましたが、書架にほとんど残っていないほどの利用があります。今後とも、利用者の動向を踏まえ魅力ある書棚づくりが必要であると考えます。

＜評価委員の意見＞

- 図書の配架に気をかけて魅力ある配架づくりを目指してください。
- 子ども達にやさしい図書館づくりを目指してください。
- 魅力ある図書館も大切ですが、壬生町の図書館の特色づくりに尽力ください。
- 移動図書館の子ども達を中心になっているようですが、高齢者も利用しやすいようにお願いします。
- 移動図書館は子ども達に大きく関わりを持っていただいているのでこれからも継続してください。

(2)学習成果の地域社会への活用

施設利用者が生涯学習事業や自主学習などで身につけた技量・成果を学校・職場など地域社会における文化活動に還元します。さらに、各種団体やサークルの結成や活動を支援し、心豊かなまちづくりを推進します。

①成果活用機会の充実

●主要事業

◇学校地域支援ボランティア推進事業

＜事業概要及び実施状況＞

本事業は、学校の教育活動を舞台に展開する「学校支援ボランティア推進事業」と、放課後や休日の地域社会を舞台に展開する「地域支援ボランティア推進事業」の2本柱で構成されています。両方ともに、「子どもたちが地域の教育力を受けながらより良く育つこと」と「地域の大人がこれまでの人生の中で培ってきた経験や価値観、スキル等を地域社会の中で発揮すること」という2つの目的を有しており、地域住民は自らのもつ教育力を発揮しながら、「子ども支援ボランティア」として子どもたちの育ちにかかわっていきます。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
学校地域支援ボランティア登録者数	各小中学校及び生涯学習課への登録者延べ人数	人	614	600

＜評価及び今後の方向性＞

学校支援ボランティア推進事業では、各小・中学校の実情に応じて特色ある活動が展開されるよう、社会教育行政が教職員の取組を後方支援していくことが重要です。平成24年度も教職員を対象に、学校・家庭・地域の連携・協力の重要性をテーマとした勉強会を開催しました。これにより、地域の教育力を学校教育活動の中に生かすことの重要性を多くの教職員が共有・再認識することができました。

地域支援ボランティア推進事業では、学校、地域社会、行政の役割分担を明確にしながらか目的達成に向けて協働していこうとする姿勢が重要です。

「放課後学習サポート事業」において三者の役割分担がより明確化したことにより、子どもたちが多くの人生観や価値観を有する地域の大人に出会う機会や、地域の大人が自らの教育力を発揮して、活躍できる機会の確保が促進されました。

学校支援ボランティア推進事業では、各小中学校の取組に固定化・マンネリ化の傾向が見受けられます。更なる活性化及び地域住民の新たな活躍機会の創造を目指して、教職員及び地域住民を対象とした研修会等の実施を検討する必要があります。

地域支援ボランティア推進事業では、子どもたちを地域全体で育もうとする気運をより一層高めていくとともに、「子どもたちの居場所」として放課後や休日に地域社会の中につくり出していこうとすることが求められています。

＜評価委員の意見＞

○学校で活躍するボランティアなので事故等が起こった場合、被害を受けるのが児童、生徒になります。安全、危機管理体制を考えてください。

○ボランティアの活動を活発にするために責任所在などを明確にして体制の見直しをお願いいたします。

2. 歴史・伝統を学び、新たな文化を創造する

(1)文化遺産の保護・活用

貴重な文化財の保護を図るため、町内に残る史跡や天然記念物などの調査・研究を行うとともに、資料などの整備を進めます。

また、町内の史跡や古墳等を周遊・散策できる文化財めぐりルート of 整備や史跡公園の整備を推進します。

さらに、国指定古墳の公有化を進め、文化財の保護に努めます。

①文化財の保護

●主要事業

◇埋蔵文化財発掘調査事業

＜事業概要及び実施状況＞

埋蔵文化財発掘届出に伴い、清治久保遺跡などの試掘調査を行い、埋蔵文化財の有無を確認しました。近年国指定史跡「車塚古墳」周辺地域において発掘調査が実施された「車塚古墳群」の発掘調査報告書を作成し、調査状況の公開を実施しました。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
発掘届けの受理件数(民間)	遺跡の保護を把握する	件	37	25
史跡車塚古墳公有化率	公有化地/史跡総面積	%	60	60

＜評価及び今後の方向性＞

平成24年度は赤土採取に伴う届出件数が減少したため受理件数も少なくな

りました。赤土採取を除けば、個人住宅建設に伴う届出は増加傾向にあります。

埋蔵文化財の包蔵地については、遺跡地図のホームページ等に公開を行うなど、引き続き周知徹底を図って参ります。

なお、平成25年度から今後の史跡地の見直しを図るため壬生古墳群調査整備委員会を設置し、公有化に向け事業を推進して参ります。

◇文化財保護管理事業

<事業概要及び実施状況>

町内に所在する国史跡4か所、県史跡1か所等の除草を行い、史跡地の維持管理を行いました。車塚古墳における故損木の伐採事業を継続的に行い、史跡見学者の安全を図りました。

「松本家住宅」の国登録有形文化財への登録をめざし、調査・研究を行い、申請手続きを実施しました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
維持管理実施文化財数	見学者が見学可能な文化財	件	7	9

<評価及び今後の方向性>

平成24年度、栃木県からの補助事業として羽生田地区の桃花原古墳及び県史跡の富士山古墳の維持管理事業を行い、壬生地区の古墳同様に見学ができる古墳が増えました。これにより次年度からの見学者の数も増加すると考えられます。

文化財の維持管理については、各地区のボランティア団体を育成し、その団体に管理を委ねるのが理想と考えています。

◇文化財案内板整備事業

<事業概要及び実施状況>

文化財の普及啓蒙の一端を担うことを目的に、町内に所在する国・県指定史跡をはじめ、地域に伝わる伝承の地に案内板を設置しています。本年度は国指定史跡「茶臼山古墳」の案内板の差し替えと、桃花原古墳の案内板の修繕を行いました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
案内板設置数	案内板設置述べ数	件	37	37

<評価及び今後の方向性>

案内板整備事業については、指定文化財のほか史跡名勝地にも案内板を設置しているため、多くの見学者に喜ばれています。また古墳や文化財を見学に関する問い合わせ数も増えています。

過去に設置した案内板の立て替えと、史跡と内容に変更があった文化財について立て替えを行っていきます。立て替えについては、文面のみ差し替えて済むよう、案内板の設計にも工夫をしています。

＜評価委員の意見＞

- 文化財の盗難に注意してください。
- 古墳に興味がある方々と連携をして地域が盛り上がる工夫をお願いします。
- 町として大きな観光資源と考え、見学者に配慮した管理を引き続きお願いします。
- 興味のある方と連携して地域が盛り上がる工夫をお願いします。

(2)地域伝統・歴史の再興・継承

地域に伝わる文化遺産の調査・研究を行うとともに、歴史民俗資料館において郷土の文化遺産の再興と伝承を行い、失われゆく「かんぴょう」などの民俗資料の収集及び保護に努めます。

①地域文化の継承

●主要事業

◇文化財保護管理事業・町指定無形民俗文化財等補助金

＜事業概要及び実施状況＞

町指定無形民俗文化財保存会 14 団体への補助事業を行い、貴重な文化遺産の伝承に努めました。平成 24 年度は助谷五段囃子保存会に協力をいただき、無形民俗文化財の公開事業を行いました。栃木県からの補助を受け「かんぴょう」生産に関わる民俗資料の収集事業を行いました。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成 23 年度	平成 24 年度
かんぴょう生産用具の数	年度別受入数	件	1	3
保存会数・15 団体	補助金受け入れ保存会数	団体	14	14

＜評価及び今後の方向性＞

「かんぴょう」生産用具の収集については、町内に広報紙などでPRを行いました。町内よりも町外からの情報が多く寄せられました。再度、下野市と協力し多くの情報が得られるような手段を考えていきたいと思えます。

収集した資料は平成 26 年度までに報告書にまとめ、国指定有形民俗文化財にすべく申請手続きを進めます。

各保存会においては、後継者の育成が進まない団体が増える傾向にあります。よって行政側が何らかの支援を行う時期に来ていると考えます。

＜評価委員の意見＞

- 地域文化の継承には後継者の問題が大きいです。流派を超えて後継者を育てるような事業の検討をお願いします。
- 引き続き地域文化の継承に努めてください。

(3)地域の歴史の再発見・発信

地域の歴史について調査・研究を行い、その結果を企画展や講座などで発表し、住民が地域に愛着と誇りを持てるよう啓発に努めます。

①地域歴史・文化の調査研究

●主要事業

◇企画展開催事業

＜事業概要及び実施状況＞

「郷土の偉人顕彰作業」を掲げ、「人物の生き方や業績を題材」とした企画展等の開催を通して、郷土文化の再認識と意識の高揚を図っています。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
企画展入館者	入館者延べ数	人	3,004	3,136
企画展図録頒布	図録頒布数[500冊の内]	冊	386	351

＜評価及び今後の方向性＞

「壬生のサムライと日光の至宝」展は、時代の転換期に文化と産業を両輪として地域おこしに奮闘した軌跡を紹介することができました。文化の力で地域を見つめ直し、盛り立てる姿勢は現代に通じる魅力を放つものでした。この魅力から新たな「地域おこし」そして「地域ブランド」創造になるよう努めます。

＜評価委員の意見＞

- 誇れる郷土づくりに各方面から盛り上がる事業としてお願いします。
- 観光資源でもあるので、町全体で盛り上がる工夫をお願いします。
- 町外からも注目度が高い事業なので論語の推進も含めて継続した取り組みをお願いします。

3. 自ら学びたくましく生きる力を育む学校教育を推進する

(1)小・中学校教育の充実

教職員がお互いに高め合うための研修の場の設定、多様な教育活動を可能にするための人員の配置、就学指導を含めた相談体制の充実、子どもたちが安心して学ぶことができる教育環境の整備を図ります。

①教育内容の充実

●主要事業

◇小・中学校情報教育推進事業

＜事業概要及び実施状況＞

学校全体に情報教育に対応した学校教育を実現するための情報通信ネットワークを整備し、効率的・効果的に利用できる環境整備を図るため、パソコン等の更新事業を実施しています。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
リース更新整備	更新を実施した校数	校	3	2

＜評価及び今後の方向性＞

情報社会に対応した教育環境を整備するため、今後も計画的にパソコン等の

更新等を実施していきます。

◇小・中学校学力向上支援事業

<事業概要及び実施状況>

壬生町立小・中学校に学校教育支援員や教員助手、フルタイム・ティーチャーを配置し、少人数指導やT・T(チーム・ティーチング)による児童・生徒一人ひとりに対応したきめ細かな指導、また軽度発達障がい等の児童生徒への支援等、児童生徒の学力向上や学校生活支援を図っています。

【用語解説】

○学校教育支援員

学力向上支援員が、T・Tによる学力向上支援及び特別支援学級の児童生徒の学習支援や生活支援を行います。また、学校生活支援員が、発達障がいや身体的障がい等のために学校生活全般において常時支援が必要な児童生徒に対して個別の生活支援を行います。

○教員助手

小学校の外国語活動の授業、中学校の数学・英語等の教科支援の授業及び、外国人等日本語指導が必要な児童生徒の支援を行います。

○フルタイム・ティーチャー

複式学級において、複数教員による授業を行うことにより、通常一人の教師が2学年の授業を受け持つデメリットを解消し、学力向上を支援します。学年担任として正規の教員とほぼ同様の勤務態勢を執っています。

○T・T(チーム・ティーチング)授業

学級数を超えた人数で行う授業。1学級を2名の教員で指導したり、2学級を3グループに分け、3名の教員がそれぞれ指導したりしています。

○複式学級

小学校において、児童数が2つの学年で16人以下の場合(1年生を含む場合は8人以下)、中学校においては、生徒数が2つの学年で8人以下の場合、2つの学年で1学級となります。

○外国語活動

小学校学習指導要領の改訂により、平成23年度から小学校5、6年生に義務化された、「外国語活動」や国際理解に関する学習において、外国語を用いて、互いの思いや考えを伝え合うことの楽しさや大切さを体験できるような活動をととして、コミュニケーション能力の素地を養います。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
学校教育支援員等の人数		人	34	36

<評価及び今後の方向性>

学校教育支援員等の配置により、特別支援教育・個別生活支援・少人数指導が充実し、児童生徒にきめ細やかな学習指導が行われ、学力の向上や学校教育環境の安定が図れました。

保護者や地域社会の教職員に対する要望・期待は益々多様化し、更なる繁忙化が想定されます。これらに対応し児童生徒の学力向上を図るためにも、今後も継続して学校教育支援員等の配置に努めます。

＜評価委員の意見＞

- パソコンの更新割合などの数値的な実績の標記をお願いします。
- 情報機器の整備だけでなく児童生徒への情報の危険性を教える機会の内容も記述してください。
- 全国学力テストについて調査結果と分析をホームページに開示していることはすばらしいことだと思います。

②特別支援教育の充実

●主要事業

◇就学指導事業

＜事業概要及び実施状況＞

障がいがあるため、小・中学校の通常の学級では、十分な教育的効果を期待することが難しい児童・生徒に対して、教育ニーズにどのように対応していくか、様々な情報を提供しながら保護者とともに考えます。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成 23 年度	平成 24 年度
就学指導委員会で審議した児童・生徒	審議した人数	人	53	50

＜評価及び今後の方向性＞

専門家(臨床心理士など)からの助言も得て、対象児童・生徒にとって適切と思われる情報を提供することができました。

就学指導委員会と就学前機関が連携して、子どもの状況を把握し適正な就学に努めます。

＜評価委員の意見＞

- 今後も適切な情報を保護者に提供していただきたい。

③教育環境の整備・充実

●主要事業

◇小・中学校施設修繕及び改修事業

＜事業概要及び実施状況＞

安全で快適な環境整備を図るため、学校施設の修繕、改修工事を行ないます。

また、学校施設は災害時において地域住民等の避難場所の役割も果たすことから、防災機能向上のため「地震防災対策特別措置法」に基づき学校建物の耐震補強工事を実施します。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
耐震補強工事実施校数	実施した校数	校	1	1
耐震化率	目標に対する達成状況	%	86.5	89.2

<評価及び今後の方向性>

本年度は、修繕改修工事を小学校61件、中学校19件実施いたしました。
また、学校施設の耐震補強工事は、睦小学校の普通教室棟の耐震補強工事を
実施し、整備計画のとおり推進することができました。

◇スクールランチサポート事業

<事業概要及び実施状況>

平成23年度から、保護者の負担軽減を図るため、児童・生徒(要保護・準要保護並びに就学奨励費補助受給者を除く)に対し、学校給食費(小学校4,200円/月・中学校4,800円/月)の一部、月額500円(年額5,500円)を助成しました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
助成対象児童・生徒数		人	3,067	3,127

<評価及び今後の方向性>

広く町民に事業が周知されるように広報紙や教育委員会ホームページの充実を図ります。
また、子ども達や保護者に対して、事業の周知が図られるようPRを拡充・推進し、保護者の経済的負担の軽減を図るために、今後も実施します。

◇学校給食委託事業

<事業概要及び実施状況>

学校給食調理業務を、平成20年度に壬生中学校、平成22年度には南犬飼中学校、平成24年度からは壬生小学校を民間業者委託へ移行しました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
調理業務委託実施校		校	2	3

<評価及び今後の方向性>

学校給食調理業務については、平成24年度から長期継続契約による業務委託をすることができ、経費節減ができました。また、調理員の急病等の突発的な事象にも迅速な対応がなされ、安定した学校給食を提供することができました。

町正規調理員の定年退職等に伴い、人件費等の経費削減と児童・生徒への安定した学校給食提供のため、計画的に民間業者委託への移行を図っていきます。

＜評価委員の意見＞

- 耐震化工事に今後の計画があるので方向性に記載してください。
- アレルギー対応の講習は全教師が受講できる体制を検討してください。
- アレルギー対策の項目があっても良いのでは

④相談体制の充実

●主要事業

◇教育相談員配置事業

＜事業概要及び実施状況＞

児童・生徒に関する家庭及び学校等からの教育相談及び適応相談に対し、教育相談員4名を配置し必要な助言・指導を行なっています。また、適応指導教室「ひばり」は、貴重な学力保証の場にもなっております。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
相談件数	電話・来所相談件数	件	198	246
在籍校への復帰者数	復帰者及び高校進学者	人	1	4

＜評価及び今後の方向性＞

不登校児童・生徒の学校復帰を、これまでと同様に支援するとともに児童・生徒に関する家庭等に対する相談体制を充実させます。また、発達障害のある子どもは、早期に発見し、適切な指導をすることで症状がめざましく改善されるため、今後は特別支援教育に向けた相談体制を整備します。

＜評価委員の意見＞

- 相談体制を整えて、継続的にお願いします。

⑤幅広い学びの充実

●主要事業

◇マイ・チャレンジ総合推進事業

＜事業概要及び実施状況＞

地域における人との関わりを主とした社会体験活動を通じて、共に生きる心や感謝の心を育むため、中学2年生を対象に毎年実施している事業です。また、社会体験活動を通して地域を愛し、地域から信頼される人間を目指させます。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
体験事業所数	事業所数	社	116	116

＜評価及び今後の方向性＞

直接的な社会体験を通して、自己の生き方、勤労の尊さを感じ取らせることができました。また、職業に対する考え方や学習の必要性等を理解するなど、

生徒の意識が高められました。今後も職場体験学習を通して、生徒の成長段階に応じた勤労観・職業観の育成を図っています。

◇宿泊体験活動推進事業

<事業概要及び実施状況>

児童が集団で宿泊しながら、自然体験をはじめ共同生活体験、社会体験など、学校外の生きた教材や生活場面での直接体験を通じて、生きる力を育めるよう、宿泊体験活動推進事業に対して必要な経費の一部を町が負担し、もって学校教育の充実を図るため、事業経費のうち、貸切バス借上げ料(往復)を町が負担します。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成 23 年度	平成 24 年度
宿泊体験活動バス借上げ校		校	6	8

<評価及び今後の方向性>

とちぎ海浜自然の家を利用し、普段海に接することの少ない子どもたちに、海辺に宿泊しながら海の自然や海にかかわる産業・文化などに触れさせ自然体験が図れました。

自然体験を通し、自然に親しみながら、集団生活・集団行動を学ぶ機会として、今後も継続して実施します。

<評価委員の意見>

○マイチャレンジ事業では個人情報問題となり活動が制限される場合がありますが、こんなにも多くの事業所が中学生を受け入れてくれることを知りました。

4. すべての住民が競い、触れあい、スポーツを楽しむ環境を創る

(1)生涯スポーツの普及推進

生涯スポーツの推進を図るために、講習会や研修の開催・参加によりスポーツ推進委員などの人材の育成・確保を維持するとともに、総合型スポーツクラブの運営支援を継続して行います。

また、スポーツ施設の維持管理に努めるとともに、新体育館の整備に向けた検討を推進します。

①人材・団体の育成

●主要事業

◇スポーツ振興助成事業

<事業概要及び実施状況>

町民のスポーツ意識の浸透とスポーツ参加の促進、また指導体制の確立に活躍している壬生町体育協会(各専門部及び壬生町スポーツ少年団)に補助金を交付し、活動支援を行っています。

また、スポーツ全国大会等出場者(個人・団体)に補助金を交付し、支援しています。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成 23 年度	平成 24 年度
全国大会等出場者数		人	66	85

<評価及び今後の方向性>

体育協会には町スポーツ振興の担い手として補助金を交付し、22 専門部が活動し一定の効果が得られました。

また、全国大会等の出場者には、補助金を交付し支援を行いました。

今後は、総合型地域スポーツクラブ「ゆうがおスポーツクラブ」が、生涯スポーツの中心となり、体育協会は、競技スポーツが中心となります。

また、全国大会等の出場者には、引き続き支援を行います。

◇栃木県郡市町対抗駅伝競走大会出場事業

<事業概要及び実施状況>

市町村の合併により、下都賀郡チームとしての編成が困難になりましたが、壬生町は平成 22 年度より、単独チームとして出場しています。本大会に向け、年度当初から監督を中心に強化練習会を町陸上競技場や他市町の陸上競技場で行なうほか、他市町のマラソン大会や駅伝大会等にも出場し選手の強化を図っています。

また、中学生の強化選手については、両中学校に依頼し、選手を推薦していただいております。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成 23 年度	平成 24 年度
強化選手数		人	21	21

<評価及び今後の方向性>

現在のところ、チームが結成され 3 年目と浅いため、他市町のチームとの差は大きいですが、中学校や体育協会等と連携を図り選手強化に努める必要があります。また、広報活動などで大会を周知させ、町全体としての盛り上がりを図る必要があります。

今後は、選手育成のため小学生を対象とした陸上教室を開催し、駅伝大会当日に栃木市で同時開催されている「栃木県小学生駅伝競走大会」に出場するなど、長期的視野で選手の強化・育成を図ります。

また、町の広報紙やホームページ等で強化練習会や大会を PR し、町全体としての盛り上がりを図ります。

<評価委員の意見>

- 全国大会出場者数は約 3 割増加していて素晴らしい。
- マラソン大会は今後も継続して実施してください。
- 駅伝大会は出場して間もないので実績が伴わなくても仕方ないが、駅伝大会の順位も事業実績に挙げて欲しい。
- 駅伝選手の強化については、中学校へも働きかけ、高校生、社会人につながるように連携を図ってください。
- 駅伝競走大会における具体的な目標を明記して欲しい。

②地域型スポーツの推進

●主要事業

◇総合型地域スポーツクラブ事業

<事業概要及び実施状況>

平成12年に文部科学省が策定した「スポーツ振興基本計画」の中で、重要施策として掲げられた「総合型地域スポーツクラブを育成」という目標に対し、本町においては「いつでも・どこでも・いつまでも」スポーツを体験・修得できる、総合型地域スポーツクラブ「ゆうがおスポーツクラブ」を平成23年2月に設立しました。ゆうがおスポーツクラブでは、町民総スポーツ活動の推進のための、各種教室及びイベント等を開催しています。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
会員数		人	563	653

<評価及び今後の方向性>

ゆうがおスポーツクラブが設立したことにより、子供から高齢者までが各種教室及びイベント等に参加し、世代を超えた交流が図られています。

また、日常的に身体を動かす機会が増えたことにより、子どもの体力向上から高齢者の健康保持増進に大きな役割を果たしています。

ゆうがおスポーツクラブの運営は、受益者負担が基本であり、会員からの会費(年会費等)が主な財源となるため、会員の確保が最大の課題となっています。そのためにも、運営・指導に携わるより良い人材を発掘し、魅力ある事業を数多く開催することに努めます。

<評価委員の意見>

○年代、世代を超えた方々が参加しており、素晴らしい取組みと評価します。

③スポーツ施設の充実

●主要事業

◇ふれあいプール改修等工事

<事業概要及び実施状況>

直線スライダを支える鉄骨が発錆により腐食していたため、新たな鉄骨を設置し補強するとともに、旧材についても下地処理のうえ、錆止め塗装をすることで安全性の確保を図りました。

プール施設内のゴムチップ舗装に多数の亀裂を生じておりましたが、塩ビ防水シート敷設により亀裂部分を補修することで、安全性の確保とともに景観的にもよくなりました。

スライダー着水プールは、降雨時に雨水とともに土砂が流れ込んでしまうため、水を汚濁させていました。そこで着水プール手前に側溝を敷設することにより、雨水がプールに流れ込むことがなく、衛生的になりました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値
-----	--------	----	-----

			平成 23 年度	平成 24 年度
利用者数	プール利用者数	人	60,340	77,777

<評価及び今後の方向性>

昭和 61 年度開設のため、施設の老朽化は否めませんが、県内有数のレジャープールとして町内外から利用者が訪れています。今後も計画的・効果的な改修を行い、安全で快適な施設の維持管理に努め、利用者の確保を図ります。

<評価委員の意見>

- プール等の事故を防ぐために安全管理には細心の注意を払って管理してください。
- 小学生のプールの無料入場券は、小学生が楽しみにしているので今後も継続してください。
- 人工芝が補修されて利用者に喜ばれるものになったようで嬉しいです。今後もお願いします。

(2)幅広い町民スポーツの振興

住民ニーズに対応するスポーツ・レクリエーションイベントや各種大会を開催し、住民のスポーツ参加機会の拡大に努めます。

①スポーツ参加機会の拡大

●主要事業

◇ゆうがおマラソン開催事業

<事業概要及び実施状況>

平成 24 年度は、「かんぴょう伝来 300 年」を記念いたしまして、一般道を走る 10 キロコースを新設し、規模を拡大して実施しました。さらに多くの方に楽しんでいただくように、町外からも参加者を募集したところ、2,000 名を超える参加者が集まり、当日は盛大に開催されました。

また、ゲストランナーには平成 23 年度に引き続き「高橋尚子」さんをお迎えし大会に華を添えていただきました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成 23 年度	平成 24 年度
大会参加者数		人	1,166	2,388

<評価及び今後の方向性>

交通事情等により町内小中学校では校内マラソン大会を取り止めている学校もあるため、積極的に参加を呼びかけました。小学 1～3 年生の親子ペア及びペアの部も思い出づくりのため盛況でした。また、町内外からの多くの参加者に対し、壬生町特産のかんぴょうを町内のボランティア団体が料理したカミナリ汁を配布するなど、全国にかんぴょうの町「壬生町」を発信することができました。

また、様々なイベントを地域住民と連携・協力しながら催し、壬生町民と町外・県外の方々との交流を深めるための新たな場としての大会が開催されました。

新設した、県道宇都宮・栃木線を走る 10 キロコースを引き続き行なうことで、

マラソン愛好者の参加者増加に努めます。

＜評価委員の意見＞

○マラソン大会は「高橋尚子」さんを迎えてとてもいい大会です。今後は「高橋尚子」さんが違う形で活躍していただけるような工夫をお願いします。

5. 青少年が健やかに育つ社会を実現する

(1)家庭教育の推進

子育ては、親が親としての責務を十分に自覚し、優しさ、暖かさ、厳しさをもって子育てを担っていくことが必要です。

幼少期や思春期などの子どもの発達段階についての理解や親としての関わり方を学ぶため、様々な機会を活用した講座を開催し、家庭教育力を充実させていきます。

①家庭教育の充実

●主要事業

◇家庭教育推進事業

＜事業概要及び実施状況＞

家庭の教育力の低下や子育ての密室化等が指摘されている今日、保護者が子育て上必要な素養を学んだり、保護者どうしゆるやかにつながりあったりすることを目的とした「子育て・親育ち講座」を開催しました。実施の方向性は、庁内関係部課局職員や地域住民等で構成する家庭教育支援実行委員会において協議し、講座の企画運営は栃木県家庭教育オピニオンリーダー壬生支部3名で構成する家庭教育支援チームが担いました。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
小中学校子育て・親育ち講座の参加率	対象保護者数に対する参加した保護者の割合	%	75.2	59.7
子育て・親育ち講座の開催数		回	35	43

＜評価及び今後の方向性＞

仕事等を抱えて多忙な生活を送っている保護者に対しても学習機会が提供できるよう、保育園・幼稚園、小・中学校、各地域団体等と協働し、いろいろな機会を利用して全43講座を開催しました。保護者のニーズに沿った講座の企画立案を特に重視し、多くの保護者から「日頃の子育てを見直す良い機会となった」等の意見が寄せられました。

人間関係の希薄化等により、子育てやしつけについて悩みを抱え孤独を感じる保護者の増加が指摘されている状況下、保護者どうしが講座をとおして顔見知りになり、次回会ったときに声を掛け合えるような「ゆるやかなつながり」づくりが社会教育行政に求められている今日的課題のひとつです。講話型とワークショップ型を併用しながら、保護者がその教育力を高めていけるような、効果的な講座設定に家庭教育支援チーム員と共に努めていきます。

＜評価委員の意見＞

- 就学時健康診断時を利用することはいいですね。
- 時間がとれず参加できない保護者が参加できるような時間を検討してください。
- 魅力ある講師の選出をお願いします。
- 参加率を挙げる工夫をお願いします。

(2)青少年活動の推進

青少年が健やかに育っていく過程では、社会性は人々との関わりの中から、意欲は物事に能動的・積極的に取り組む中から培われており、それらを育むためには、様々な体験活動を提供することが必要です。

そのため、リーダーの育成や各種団体の活動を支援し、青少年の体験学習や交流活動を推進していきます。

①青少年活動の充実

●主要事業

◇青少年活動推進事業

＜事業概要及び実施状況＞

次代を担う青少年が健全に成長することは、すべての町民の願いであり、社会を構成する大人には青少年に対して積極的に関わり合い、健全な成長を支える責務があります。青少年の問題行動(非行等)に対しての指導、健全育成等に関する町内の関係機関と情報交換をしました。

青少年が健全に育つよう、薬物乱用の防止と有害サイトの危険性、犯罪に手を染めないための意識付けとして啓発を兼ねた標語の募集を行い、優秀な作品はクリアファイルにして啓発しました。

また、社会の構成員として責任を自覚させる成人式を開催しました。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
成人式の出席者	成人式の出席者数	人	303	302
成人式の出席率	成人式出席者数/成人者数	%	83.0	80.1

＜評価及び今後の方向性＞

平成23年度から成人式は、会場を壬生中央公民館に統一して開催し、両中学校の新成人が共同で運営にあたっています。今年度も肅然とした式が開催できました。

また、町内の中学2年生より青少年健全育成標語を募集し、優秀な作品を選出して、チャリティー交流会や蘭学通りまつりなどの会場で多くの方々に啓発活動ができました。

今後も、成人式の会場は一会場で開催します。

また、青少年を健全に育成するための環境浄化や啓発活動を一層推進して参ります。

◇みぶホリデーアクションプラン

＜事業概要及び実施状況＞

子どもたちに豊かな体験活動を提供する、児童文化教室(宿泊研修、ドッジボ

ール大会、カルタ取り大会)、ボランティアの協力を得て土曜日の小学校体育館で開催している子ども遊び学び塾、親子のふれあいをテーマにする家庭の日事業(親子木工教室等)を開催しました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
児童文化教室参加者数	延べ参加者数	人	294	319

<評価及び今後の方向性>

児童文化教室の中の宿泊研修は、野外調理やわんぱく公園ウォークラリー、キャンプファイアーなどを行い、子どもたちが笑顔で活動し、好評を得ました。子ども遊び学び塾と家庭の日事業でも子どもたちの笑顔がいっぱいの事業でした。

今後も児童文化教室は、子どもたちへの体験活動の提供が重要であることと地域の枠をこえた子どもたちの交流の場として効果的であることから、今後も継続して実施していきます。

一方、子ども遊び学び塾では、参加者の減少に伴いボランティアスタッフも減少しています。今後は、ボランティアに興味のある団塊の世代をスタッフに勧誘し、世代間交流を促進する事業として推進を図ります。

<評価委員の意見>

○成人式の出席率がとても良い数値です。

○とても良い事業ですので、今後も引き続きお願いします。

6. 共同参画社会の確立を目指し、個人・個性を尊重する

(1)男女共同参画の推進

住民と一体となって総合的に男女共同参画社会の実現に向け、「壬生町男女共同参画プラン」を住民と協働で推進し、性別にとらわれず個人が尊重され、能力が十分に発揮できるまちづくりを目指します。

①推進体制の整備

●主要事業

◇女性活動推進事業

<事業概要及び実施状況>

男女共同参画プランを推進するため、役場内では庁内連絡会議及び外部委員の意見を聞く推進委員会を開催し、進捗状況の確認と問題点の洗い出しを行いました。町民には家庭や地域での意識作りのため、「パートナーシップで築く農業経営」講師：平出孝司 「100人村」講師：緑川和子 「夫婦のコミュニケーション」講師：福田守孝の3講座を開催しました。

また、男女共同参画講演会では「クミコ」のミニトーク&ライブの他女性団体の発表、推進員有志による寸劇と多彩な内容で男女共同参画の啓発を行いました。さらに、指導者育成のため家庭教育オピニオンリーダー研修への参加を促しました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
男女共同参画講演会参加者数	講演会参加者総数	人	400	800

<評価及び今後の方向性>

男女共同参画計画の推進や女性リーダー等を育成することで、各種審議会や委員会への参画が推進され、男女がお互いを尊重しつつ共に協力し支えあいながら、家庭生活とその他の活動を両立できるような社会づくりの形成を啓発しました。また、男女共同参画講演会において託児を実施し、女性が参加しやすい環境を整備しました。

住民意識調査の結果から男女の平等感は向上しており、男女共同参画が少子高齢化対策に繋がるように、事業の推進を図ります。

<評価委員の意見>

○企業の問題、社会全体の問題でもあるので成果が見えにくい事業ですが、継続的な事業展開をお願いします。

7. 国際理解を促進し、交流活動を推進する

(1)国際理解の促進

国際社会の一員として、互いの文化や生活習慣を理解し尊重しあえるよう、国際交流協会などによる民間交流事業を支援します。

また、本町に居住する外国人のために、安心して生活ができるよう医療・福祉・生活環境などの情報提供を図ります。

①外国文化への理解の促進

●主要事業

◇外国語指導助手配置事業

<事業概要及び実施状況>

平成23年度から民間委託の外国語指導助手（ALT）を3名配置し、ALTを各中学校に週4コマ、各小学校には週1コマ派遣し、それぞれの学年に応じた国際理解教育や英語学習の一層の充実を図りました。小学校では、小学校学習指導要領の改訂により平成23年度から義務化された「外国語活動」や国際理解に関する学習において、外国語を用いて、互いの思いや考えを伝え合うことの楽しさや大切さを体験できるような活動をとおして、コミュニケーション能力の素地を養い、中学校では、英語科の授業において、実践的なコミュニケーション能力の基礎を養う等、外国語教育の促進を図りました。また、24年度においては、中学生国際交流推進事業の派遣団員縮小による代替え事業としてALTを活用したイングリッシュ・プログラムを小学校高学年を対象に実施しました。

<事業実績>

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
外国語指導助手の人数		人	3	3

<評価及び今後の方向性>

国際化の中、外国人による生きた英語による授業により、語学学習の意欲が高まるなど事業効果が表れています。また、外国語指導助手が蘭学通りまつり等地域の各種イベント事業に参加し、地域との交流が図られました。

外国語指導助手を平成23年度にJETから民間委託へ完全移行することにより、経費の軽減と安定したALTの配置及び民間のノウハウを活用し、語学教育の充実を図りました。

また、イングリッシュ・プログラム事業についても、25年度から業務委託の中で年2回事業を実施して行きます。

＜評価委員の意見＞

○外国語指導助手(ALT)がこの地域に愛着を持つと交流が生まれるので、その方々を巻き込んだ事業展開を検討ください。

(2)国際交流活動の推進

若い世代から豊かな国際感覚を身につけるため、中学生海外派遣事業を実施するとともに、町の国際交流推進の中心となる壬生町国際交流協会活動への積極的な支援を実施します。

①交流活動の支援

●主要事業

◇中学生国際交流推進事業

＜事業概要及び実施状況＞

本事業は、平成10年度から実施している事業で、平成24年度は壬生町中学生海外派遣団を夏季休業中の9日間(H24.8.11～8.19)、町内在住の中学校第2学年生徒20名をオーストラリア・シドニーに派遣しました。ホームステイによる外国人家庭での生活や現地中高生との交流、現地の語学学校での研修を通し、表現力と理解力を高めるとともに、国際理解と国際交流の推進を図りました。

＜事業実績＞

指標名	指標の考え方	単位	実績値	
			平成23年度	平成24年度
海外派遣団員数	団員数	人	28	20

＜評価及び今後の方向性＞

ホームステイしながら、公共交通機関を利用して現地語学学校に通学したり、現地中高生と書道や折り紙などを通して文化交流しました。海外での体験を通じ、外国語による表現力と理解力を高めるとともに、国際交流の推進と国際感覚を養うことができました。

国際感覚豊かな青少年の育成と国際交流の推進を図るため、今後も継続して実施します。

＜評価委員の意見＞

○厳しい状況でもこの事業は継続していただきたい。

○外国ではふるさとについて説明を求められることが多いので、壬生についての説明ができる子ども達の参加を検討してください。

